



インスピレーションになろう

帯広西ロータリークラブ 第2258回例会 2019.1.24 会報



■RI第2500地区テーマ■

行動するロータリー、つながるロータリー
～ロータリーの未来を考えよう～



■クラブ・テーマ■

常識を疑い、可能性に挑戦する

ゲスト紹介

RI第2500地区第6分区ガバナー補佐

曾根 一様

第6分区IM実行委員長

板倉 利男様



佐藤 聡 会長



それが自信にも 仕事の姿勢にも繋がっていく」
以上、会長挨拶とさせていただきます。

会務報告

小谷典之 幹事

- ①帯広東RC、夜間例会開催のご案内
日時 1月29日(火) 午後6時30分
場所 ホテル日航ノースランド帯広
- ②帯広西RC、夜間例会開催のご案内
日時 1月31日(木) 午後6時30分
場所 北海道ホテル
- ③帯広南RC、2月11日(月)の例会は、祝日のため休会と致します。
- ④帯広5RC・芽室RC・音更RC合同例会開催のご案内
日時 2月13日(水) 午後0時 会食
午後0時30分～1時30分 例会
場所 ホテル日航ノースランド帯広
講師 弁護士法人 エルディ総合法律事務所 所長 東京麴町RC ロータリー情報委員長 藤谷 護人様
演題:「ポリオプラスと国際奉仕」(仮)
※尚、帯広東RC、2月12日(火)の繰下げ例会と致します。
帯広西RC、2月14日(木)の繰上げ例会と致します。
帯広北RC、2月15日(金)の繰上げ例会と致します。
帯広南RC、2月18日(月)の繰上げ例会と致します。



会長報告

佐藤 聡 会長

皆さまこんにちは。先週の例会プログラムは新入会員卓話と云う事で4名の会員がお話しをされました。それぞれのものの考え方や生き様を自分の言葉で人に伝えることの大切さをしみじみと考えさせられた素晴らしい例会だったと思います。確かにロータリアンとしては新人ですが、各企業においてそれなりの立場でご苦労をされてきた経験が卓話の端々に見うけられ、私が新入会員の時はあんなに落ち着いて話すことが出来たかと考えると、否定せざるを得ません。例会を通して最終的に感じたことは、ゲスト卓話も必要ですが、会員間の理解を深めるために中堅会員の卓話の回数を増やすべきではないか」ということです。特に、多くの会長経験者を見ると自分の年度が終わった後は極端に出席率が低下し、全くと言っていいほど緊張感が無く単に食事をしに来ているだけと云うように感じるのは私だけではないと思います。副会長や幹事と云う役職を経て会長となり、クラブ運営の舵取りをされてきた帯広西ロータリークラブにとって貴重な人材であり、決して過去の人ではありません。歴代会長の胸に輝くゴールデンプレートは感謝と敬意の象徴であり西ロータリーの誇りであることを忘れてはいけません。その経験豊富な歴代会長の方々に当時の熱い情熱や志を取り戻していただくため、各委員会におかれましては残り半年の中で出来る限り表舞台に引っ張り出し大いに活用して頂きたくお願い申し上げます。



ということで、今週は「志」という言葉を紹介させていただきます。

「つまらないことを考えたり 心を奪われるのは
高い志が無いからだ
人は揺るぎのない一本の軸を 持たなければならない

ご挨拶

RI2500地区第6分区ガバナー補佐 曾根 一様

皆さんこんにちは。只今ご紹介頂きました今年度ガバナー補佐をやらせて頂いております曾根でございます。今日の主なお話しはIMのご案内という事なのですが、今日は実行委員長の板倉さんも一緒に来ておりますのでそのお話しは板倉さんの方からお願いしたいと思っております。皆さんご承知の事なのですが次年度のガバナー補佐のご紹介も今日を皮切りにご紹介していくわけですが、当西クラブの老友広明さんが次年度ガバナー補佐という事でやって頂けるとの事なので宜しく願い致します。それからこれは会長、幹事さんだけなのですが3月2日にノースランドホテルで現在と次年度の会長、幹事の皆さんのお集まり頂いて次年度補佐の方針をお聞き頂く事になっております。その翌週の3月9日がIMという事に事でございます。是非多くの方のご参加をお願いしたい。それから実行委員長からも



会長 佐藤 聡 副会長 内海 仁司 会場監督理事 田中 耕吾 発行：広報委員会
幹事 小谷 典之 副会長 渡部 省一 プログラム委員会理事 谷脇 正人 委員長 菊池 俊博 (副)松田 貴史



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

詳しくお話しがあると思いますが、今年度は懇親会をやらないという事です。色々議論をした結果なのですから、そういう形でやらせて頂くという事になっておりますのでどうぞ宜しくお願い致します。私の方からは以上です。ありがとうございました。

ご挨拶

RI2500地区第6分区IM実行委員長 板倉利男 様

改めまして皆さんこんにちは。西クラブに来るのは久しぶりなのですから存じあげている方も沢山おられますが、実にそちらの入口で時間をお待ちしておりましたけれども、非常にフレンドリーで温かく迎えて頂いていると感激しております。これは学ばなくてはいけないところでもありますし、先程お伺い致しますと会長が毎例会にごとにペーパーでメッセージを出しており、やはり自分の思いというものには形にしてペーパーにしてあそこに文字を書いてメンバーが見る、その事によって色々な思いが伝わっていくのだと思います。そんな事もまた新たな学びをさせて頂きました。出来たらまた私どものクラブでも何かの参考で導入出来ればと思うわけでありませう。

さて、本題に入りますが3月9日にノースランドホテルに於いてIMを開催致します。その実行委員長として拝命された板倉でございます。先程補佐からも色々とお話しがりましたが、色々な意見や議論がありましたが今迄は皆さんもご存知のように登録料が5,000円でした。市内5クラブはいいのですが、地方から来られるメンバーの方々がお酒を飲むという事は中々大変という事もありますし費用負担の問題もあります。そんな事から懇親会というものを無くしてみてもどうだろうかという発想から思い切ってこの懇親会を止める事に致しました。従いまして5,000円の登録料が3,000円という事になります。その辺り色々誤解とかもありましてあるクラブの会長さんは懇親会を無くしてどうするんだという事もあったのですが、趣旨はそういう事でございますので地方のローカルにおられる方々のためを思ってそういうふうにしてみた訳であります。従いましてこれが良いのか悪いのか、また来年はどうされるか1年限りの事でございますのでまた考



えて頂ければ結構でございますけれども、やってみなければ分からないのです。何でもやってみてそこで色々反省もあれば新しくこういうふうにしていこう、こういう方向に進もうとか色々な事が決まるわけですから、ご批判はご批判として色々なご意見も受けたまいますので、どうぞひとつこの3月9日をご理解頂きたいと思っております。講師は和久井薫さんという方を、ニュースやキャスターあるいはアナウンサーをやっておられるのでご存知の方も多いと思うのですがその方をお招きしての講演を頂きます。今、作業が大分もう9合目からってペンまで大体いってございまして、今月いっぱいパンフレットの原稿がメンバーである角君の東洋印刷の方へいって、パンフレットが出来上がるのが来月の10日過ぎから中頃となっております。出来上がりましたら皆さんの方へ送付させていただきますが、費用につきましては懇親会の費用はカットされたけれども残ったお金で運営するわけですからなかなか運営も厳しい状況ではありますけれどもやってやれない事はないと思っておりますので、その予算の中で最大公約数を求めて皆さんの喜んで頂けるようなそんな運営が出来ればなというふうにして思っております。そんな事でメンバーが一丸となって努力している最中でございます。どうかひとつ皆様方の温かいご理解とご支援を頂ければと思っておりますので宜しくお願い致します。この後は市内の5クラブ全部と音更クラブの例会に行けるかどうかというかはわかりませんが、各クラブにお邪魔して今ここで話し申し上げた事のお話しをして、ご理解を賜りたいというふうを考えております。どうぞひとつ宜しくお願い致します。ありがとうございました。

ニコニコ献金 北川勝啓 親睦活動委員

谷脇 正人 プログラム委員長

本日担当例会です。よろしくお祈りいたします。

北川 勝啓 親睦活動委員

ニコニコ発表しましたのでニコニコ致します。



ニコニコ	1月24日	4,000円
献金	累計	350,000円 (1月24日現在)

プログラム

「ちょっと考える」

谷脇正人 プログラム委員長

皆さんこんにちは。今日はプログラム委員会担当の『ちょっと考える』という例会をさせて頂きたいと思っております。今日は2022年に当クラブは創立50周年を迎えるという事でそちらに向けて3年程になりますけど少し皆さんに色々な事を分かって頂くために、うちの委員会では在籍35年の岡田さんと19年の本田さんと11年の上垣さん、今日上垣さんはちょっと体調が悪くて欠席ですけれども、皆さんのご経験や様々のご記憶からクラブについて少しお話しを頂いて皆さんに50周年に向けて少し感じて頂くという事で今日の例会を進めさせて頂きまして会員卓話をお聞き頂きたいというふうにして思っております。在籍年数で割ると私の持ち時間は3分なのでこれで終了すると思っております。割るとそうになっています。私の出番は多分これでおしまいになると思っておりますけど、岡田会員より会員卓話を進めて頂きますので岡田副委員長宜しくお願い致します。



岡田 武稔 プログラム副委員長

皆さんこんにちは。今、プログラム委員長の谷脇さんからの紹介で『ちょっと考える』、僕はずっと考えていました。何を話していいのか、ましてや今日は2500地区第6分区のガバナー補佐の曾根さん、それからIM実行委員長の板倉さん、お二方が来ている時にこれは数字なんかを間違えたら、特にそういう事

には厳しい曾根一さんなので非常に緊張してここに立っております。

小淵恵三さんが次の年号は平成にしますというふうになってからもう31年経ちました。岐阜県の関市に平成(へなり)という平に成と書いて平成(へなり)という所がこの頃もう平成が終わるのでその平成煎餅が全国から注文があつて平成の名残を感じているとの話しがテレビでやっておりました。

平成になってからももう31年になるわけでありませう。私がロータリークラブに入った時は西クラブが出来てから12年目に入会致しました。12年目の時に入会されていた会員は、柴田バスターガバナー、それから酒井さん、それから久保さんの3人で、その時から見たらもう僕と4人しかいなくなっています。

西クラブでは実はその前にも少し話した事があるのですが、親子で西クラブの会員だったという人は13組いらっしゃいます。順において言いますとまず深澤さん、深澤会員のお父さん深澤知善さんですね、この人と深澤知博さんがまず初めです。その次に茨木章さん、これは茨木雅敏さんとお父さんです、これで2組目となります。それから川田淳さんと川田章博さん、これは親子で入っておりまして2人一緒に入っていたというのは川田さんだけです。それから4組目に河西哲夫さんと河西智子さん。その次は河合健一さん、河合会計事務所の河合健一さんと息子さんの敏さん。それから金尾武志さんと金尾剛さん、それから平田利器さんと平田宗利さん、それから千葉清孝さんと千葉清秀さん、その次はお二人とももう退会されておりますが、森嘉平さんと息子さんの森賢伸さん親子も入っていました。それからこれは記憶にないかと思うのですが僕らが入った時にはいらっしゃったのですが、谷津藤一さんという設計事務所をやられていらっしゃったその谷津藤一さんと息子の征彦さん、それと小甲孝義さん、小甲建設という建設屋さんでしたけれどもその息子さんが哲士さんという人がいらっしゃいました。それから12組目は山岸さん、帯広冷蔵の社長さんだったのですが山岸武さんと息子さんの淳一さん。最後になりますが大小路にたぬき屋さんという瀬戸物屋さんがありまして、開庄太郎さんという方が僕が入った時にいらっしゃったと思うのですがその息子さんの将臣さん。この方でほしい西クラブで13組の親子の会員がいたという事でございます。

西クラブが発足したのが1972年2月24日、その時のチャーターメンバーは31名でした。僕が入った時にチャーターメンバーの方はもうすでに4名ぐらいいなくなるとほとんどの方が退会されていました。僕が生まれたのは1938年4月1日、昭和13年、その昭和13年という事は実は歴史的に大きな意味を持つ日だったらしいです。と言いますとこの日国家総動員法という法律が国会で成立して、その前にあっていわゆる治安維持法と並び称された国家の悪法だと言われてこの昭和13年4月から今度は太平洋戦争にどんどん入っていくので、今のいわゆる日韓問題だとか北方四島の問題だとかというのはここに実は端を発しているのではないかというふうに思います。

僕が西クラブに入会したのが1984年4月19日です。これもまたどういふ事なのか僕が6つの時に亡くなった母親の命日がちょうど入会した日でした。入会した時に在籍していらっしゃったのが酒井さんと柴田さんと久保さんの3名でした。ここに記念誌を持ってきたのですが、20周年記念の時に入会していた方は3名の他に茨木さん、林文昭さん、笹井祐三さん、田中利昭さん、尾藤さん、太田一也さん、この僕を入れてちょうど10名でございました。西クラブの創立は先程言いましたように、1972年2月24日で1972年3月29日にRIによって承認をされて、伝達式は今ではちょっと古くなってしまいましたが寿御苑で6月15日に行われております。6分区分の変遷なのですが、帯広クラブが1935年、昭和10年、僕が生まれる3年も前から帯広クラブが発足しておりその後北クラブができ、広尾、芽室、足寄が1962年、それから2500地区では初めての女性会員の入会があったという清水ロータリークラブ、この発足が1963年11月8日です。それから上士幌ができ、西クラブ、東、南、音更というふうになっております。帯広西クラブは2500地区では44番目、6分区分では8番目、市内では3番目のクラブでございます。

よく言われるのですが、例会場に国旗が掲げられているのは何故かということがありますが、これは小堀憲助さんとい

う方の本で読んだことがあるのですが、戦時中、戦前戦後にかけて大阪や神戸で右翼の人達がどうもアメリカかぶれの集会をやっていると、『お前ら何をやっているんだ』というような事で右翼の人達が会場に怒鳴り込んで混乱が起きたという話があるという事で、でも会場の中には我々はきちんとした国旗を掲げて日本の将来のためやそういう事について一生懸命やっている、活動している会だからという事でそういう大変な時期も乗り越えてきたというふうになっております。

それとここに全部で4回の周年事業の記念誌があります。実は1回目のこの記念誌は本当は10周年に発刊する予定でしたが、照本さんという製麺会社の社長さんがいらっしゃってその方がほとんどを請け負っていたのですが、身体を壊して10周年の時にはとうとう発刊出来なくてこれは15周年に発刊されたものでございます。この中に似顔絵があるのですがこの似顔絵は実は勝毎に山元さんという人がいまして山元さんに皆さんの写真を持っていきまして、こういうふうにして全部の似顔絵を書いてそれを小さな額に入れて皆に記念誌として配った事が今では懐かしい思い出があります。僕が写真屋の関係だったものだからこの時から10年と20年と30年、40年は携わらなかったのですがほとんどの記念誌に携わってきました。思い出されるのは20周年記念の時に手を手をつないでというこの記念誌だったのですが、実はこれは非常に立派な金箔鋳にしてここに縁を入れると表紙を作るのに大変お金がかかるという事で、僕が記念誌の発行委員長をやっている、林文昭さんが副委員長、それから笹井祐三さんが副委員長でやったのですが、最初に予算を成立して大同印刷さんの小原さんという方と交渉していたのですが、ところがこの表紙にお金がかかるという事で当時の深澤社長が、『岡田ちよっと来い』と言うので『はい』って行ってみたら、実は深澤社長というのは戦後に代用教員で先生をしていたのです、僕が中学生の時に数学の先生で僕の教室で数学を教えてくれていたのですが、今でもクラス会やなんかがあると深澤先生に教えてもらったので俺の人生が狂ったという人も何名かいるように聞いております。それは別として、僕が呼ばれて『こんな予算で出来るわけじゃないか』と言われて怒られて、林さんは『約束どおりだからこれでやってもらわないと』という事で、深澤さんの大同印刷さんの方もこれを印刷したおかげで何年か立ち直れなかったという風評があったりなどそういう事もありました。この記念誌の中で座談会をやってみました。座談会は歴代会長とチャーターメンバーで行ったのですが、司会をしながら話を進めたのですがもう想像つくと思うのですが、喋る人は永遠に喋るのです。ところが喋らない人は『うん』『ああ、そうだね』くらいしか喋らないのです。それをうまくバランスよく入れていくという事はこの人の言ったことをこちらへ入れたりののですが、後になって『俺はこんな事言っておらんぞ』と言われ非常に苦労してやった事もありました。これは蛇足になるのですがこれは実は僕が手掛けた広報なのです。この広報が最近ある出版社からこの写真と文面を使わせて頂けないでしょうかと言われてました。僕は1ヶ月かかって十勝管内の土幌線、広尾線、それから根室本線の上下線、池田からの池北線全部の写真と歴史をとってあったので、そういう事を勉強するのであれば随分と勉強になったと思います。1番最初の土幌線シリーズでは『村民は弁当持参で駅付近に詰めかけ列車の来るのを待った。集まった人は蒸気機関車が真っ黒い煙をあげながら進入してきた時に思わず万歳と叫んだ。』音更町史より。『基点帯広より二里七歩、将来帯広が市政の時には帯広に編入を要望する約百戸の住民から北帯広として要望があったけれども、当時木野村農場の木野をとって木野駅にした。』このような歴史だとかですね、これは上士幌駅なのですが『上士幌駅か構内で貨車の入れ替え作業中に丸太を満載した台車2両が連結器からはずれ暴走し、午後七時十五分北平和駅付近で十勝三股行きのディーゼルカーに激突しディー

ゼルカーに丸太がめり込み、死者三名重軽症者三十八名という土幌線最悪の事故となったのです。』それから1番最後なのですがこれは十勝三股駅なのですが『もともと土幌線は軍事上の目的があり上川を経て旭川までを結ぶ構想があったと言われる。それゆえに十勝三股まで延びた鉄道も度重なる凱旋で中止となり昭和五十三年十二月二十三日には糠平以北は廃線となり現在訪れる人もいない。時折駅が存在すら知らぬ若者が単車で爆音を響かせながら通り過ぎて行く。その後はいつものひっそりとしたたずまいと駅を埋め尽した野の花が

ひっそり咲いていた。』こういうのを土幌線、広尾線、池北線と全部のシリーズを作って、ネガも全部とってあるので今は貴重な資料になっております。喋り過ぎましたが、このような事とにかく北クラブがもう60周年という事でそろそろそういう機運を高めて、キャビネットや色々な事も考えながらこれからの西クラブも少しやっていかなきゃならない時期にきているのではないのかなというふうに思っております。今日はお二人方が来てらっしゃるので緊張のあまりうまく喋れなく申し訳ないと思っております。ご清聴ありがとうございました。



本田美喜男 プログラム委員

新しい方もいらっしゃいますしゲストの板倉実行委員長、それから曾根ガバナー補佐がおりますんで、本田と申します。顔は存じあげているかも知れませんが宜しくお願い致します。本当は先週が

我々の例会だと聞いていたものですからまさか今日こんなに素晴らしいゲストを迎えて卓話をやらされるとは思ってもいなかったので緊張しております。

今、岡田さんが色々とお話しをしてくれましたが、私はロータリークラブに入って先程ありましたように19年、まだわりと浅いです。うちのクラブが出来て28年目ぐらいに入会しております。会員の順番からいきますと、75名いるうち21番目が私で私のすぐ上に古田さんという事になっております。『ちょっと考える』というテーマなのですが、ロータリーソングの中に“それこそロータリー”というのを時々歌っております。これは簡単に言いますと、『どこで会ってもやあとと言おうよ、見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ、遠い時には手を振り合おうよ、それでこそロータリー』確かにですね、普通ここに75名、あるいは私がロータリーに入って出会った人は150名、辞めていった人を入れれば150名から200名近くいるのかも知れませんが、普通であれば中々お会いしたりあるいは名刺交換出来る人がいてもそれで終わってしまうのですが、1つの組織というかロータリーにいますと何となく上下はあるのですが、でも親しくお話しが出来るのと異業種の方がたくさんおられますので色々な情報も入ってきて知識が豊かになる、そういうところがロータリーの良さではないのかなと思っております。

それともう1つは奉仕の精神、奉仕と親睦と言っておりますので、奉仕の中にはよく宗教的になるかも知れませんが3大奉仕というものがあり、1つは身体を使ってする奉仕、それからもう1つは精神とか世の中にはこうしたらいいですよとかこうしなさいとかの精神の奉仕、それと物、金、色々ありますけど大体この3つぐらいに分けて3大奉仕という事を耳にした事があります。そんな事で私がロータリーに入ってその辺当たりが大変良かったというふうに思っております。

ロータリーのお話しは岡田さんが全部して頂けたので、皆さんの中にも知っておられる方もいらっしゃると思うのですが、簡単に書いたので読まして頂きます。自分もちょっと関わっておりますのでそんなお話しをします。

北海道新幹線という名の工事をやっております。手稲山過

ぎてから地上を走って札幌駅に入る予定だったのですけれども、この部分が地下トンネルになりましたのでトンネルの部分が多くなっております。雪の事を考えたり色々な事を考えるとむしろトンネルの方が非常に維持管理もしやすいし、今日のように風が強吹雪でどうのこうのという事がないので乗っている方にはつまらないかも知れませんが運行状況としてはいいのではないかと思います。札幌駅も創成川をまたいだ所に新札幌駅も出来る事がこないだ決まりましたので今は着工に向けて設計が進んでいます、そんな事で私もトンネルに関わっております。今1番長いトンネルが新函館北斗を過ぎて直ぐの渡島トンネルというのがあります、32.675kmありまして、2番目が札幌トンネルと言いまして手稲山から富岡の方へ抜けたところの距離が26kmぐらいあります。その他色々全部合わせまして9本のトンネルが出来上がっているのですが、工区はたくさんに分かれております。途中から掘ったり色々掘ってやっております、そうやらないと間に合わないので工事はそんな感じでどんどん掘られております。12月末現在でトンネルの掘削率は先程言いましたように150kmぐらいあるのですがまだ15%ぐらいしか掘り進んでおりませんのでこれから本格的に進んでいくと思います。発注率は70~80%ぐらいは発注されておりますので工事はどんどん進んでいきます。当初の予算が1兆6,700億円ぐらいの予算を組んでおりましたが、ところが平成23年に北海道新幹線の工事を行う時には実際に物価が2割ぐらい上がり、2割以上の建設費がアップするだろうと言われております。ですから青函トンネル部分を除いても2兆円ぐらいの金が掛かるという事のように。国の方もその辺を含めてどんどん予算付けの方はやっております、2030年までには開通させようという事になっております。リニアモーターが名古屋まで2027年開通ですから工事費ははるかにむこうの方が掛かるのですが予算の付き具合が違うのでむこうの方が早くそのような状況で進んでおります。

最近まで2016年までは青函トンネルが1番長かったのですが、でも2016年にスイスアルプス縦貫ゴッタルド鉄道トンネルが57kmのトンネルが出来て、今地上トンネルで1番長く世界一になったようです。青函トンネルは57kmまでなくて54kmなので世界2位となったようです。是非長生きして2030年に新幹線が開通する時には皆さんで乗れるように頑張っていきたい。ご清聴ありがとうございました。

谷脇正人 プログラム委員長

様々な皆さまのご意見や50周年に向けてロータリーの歴史の事やお仕事に含めて様々な時間を紡いで50周年の準備を、私がさせて頂くわけではありませんが若い方達と一緒に勉強させて頂きながら頑張っていきたいと思っております。今日のご清聴ありがとうございました。

